

| | | | | | | | | | |
|----|-----------------|--|---|---|---|---|--|--|--|
| 14 | 1,2-ジクロロエタン | | | | | | | | |
| 15 | 1,1-ジクロロエチレン | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 16 | シス-1,2-ジクロロエチレン | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 17 | 1,1,1-トリクロロエタン | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 18 | 1,1,2-トリクロロエタン | | | | | | | | |
| 19 | 1,3-ジクロロプロペン | | | | | | | | |
| 20 | チウラム | | | | | | | | |
| 21 | シマジン | | | | | | | | |
| 22 | チオベンカルブ | | | | | | | | |
| 23 | ベンゼン | | | | | | | | |
| 24 | セレン又はその化合物 | | | | | | | | |
| 25 | 1,4-ジオキサン | | | | | | | | |
| 26 | ダイオキシン類 | | | | | | | | |

3. 取り扱う容器の種類

| | | | | | |
|----------|------|---------|----|----|------|
| 蓋つきドラム缶 | 200ℓ | コンテナ | 8㎡ | 4㎡ | 1.5㎡ |
| オープンドラム缶 | 200ℓ | フレコンバック | 1㎡ | | |
| ポリタンク | 20ℓ | | | | |

4. 車両の用途

お客様の要望、廃棄物の品目、形状、排出状況に応じて適切な車両を使用。
 収集運搬車両の排ガス対策としては、低公害、低燃費の車両を導入。

5. 事業体制

| | | |
|-----------|---------|------------|
| 収集運搬を行う時間 | 月～土曜日 | 8:15～17:40 |
| | (例外あり) | |
| 休業日 | 日曜日・祝祭日 | |

6. 安全管理

| | |
|---------------------|-----------|
| 乗務前にアルコール検知器によるチェック | 健康状態のチェック |
| 免許証携帯の確認 | 制服着用のチェック |
| 車両の日常点検 | 車両の清掃 |
| 安全運転教育等の定期的な社内講習の開催 | |

7. 環境安全措置

・脱着装置付コンテナ専用車、キャブオーバー（クレーン付きを含む）、バン型小型貨物、塵芥車による直積み。シート掛け及びロープ掛けをして運搬する。

なお塵芥車に関しては性状に応じて圧縮機能を使用せず、がれき類は運搬しない。

・汚泥（含水率が低いもの）は脱着装置付コンテナ専用車による直積み。シート掛け及びロープ掛けをして運搬する。

・蓋付きドラム缶又はポリタンクを使用する際は確実に蓋を閉め運搬する。

その際重量物の積込は車両に付帯のクレーンを使用し、転倒防止のため容器をロープにて固定する。

・石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物と区分し、梱包、シート掛け及びロープ掛けをして運搬する。

・水銀使用製品産業廃棄物は破損防止のため結束して、他の廃棄物と区分し、プラスチック製コンテナ・ドラム缶に入れて運搬する。

・特別管理産業廃棄物を収集運搬する際は、他のものと区別し、損傷しにくい密閉容器に入れる。

運搬容器は上蓋を確実に閉止するとともに、車両に積載する際はロープ等で固定し、転倒防止をする。

・廃石綿等は十分強度の有するアスベスト用二重袋に入れ、荷台にシート掛けをし運搬する。

・収集運搬時は安全運転に努め、騒音・振動・ほこり等の発生防止に努める。
過積載は行わない。

弊社は社屋周辺の清掃活動を通して、地域の美化運動に協力しています。

8. 認証・資格等

エコアクション21取得

2019年 本社

特別管理産業廃棄物処理業 認定講習会修了者

一般廃棄物実務管理者講習 修了者

不当要求防止責任者講習修了者